

第4章 帝政の崩壊

UENO Toshihiko, e-mail: uenot@mc.newweb.ne.jp; URL: <http://www.geocities.jp/collegelife9354/index.html>

ロシアの暦 帝政ロシアはユリウス暦を使用していたので、西欧のグレゴリオ暦（西暦）に対し、18世紀で11日、19世紀で12日、20世紀で13日遅れている。帝政崩壊の翌年、新政権が1918年1月31日の翌日を2月14日と定めて、ロシアの暦と西暦とが一致した。ロシア史では、通常、とくに断らない限り、1918年1月31日までの日付はユリウス暦を用いている。したがって、2月27日は、西暦では3月12日である。

サンクト・ペテルブルクの名称の変化（カナはなるべく原音に忠実に表記）
1703.5.16～1825 ザンクト・ピーテルブルッフ、1825～1914.8.18 サンクト・ペチェルブルク、1914.8.18～1924.1.26 ペトログラート、1924.1.26～1991.9.6 レニングラート、1991.9.6～サンクト・ペチェルブルク 愛称ピーテル 1712～1728 および 1732～1918 首都、1708～1927.8.1 県都、1927.8.1～州都

1. 帝制の崩壊＝2月革命

- 1916年 労働者のストライキ再発
- 10月17～20日 ペトログラートで高物価・戦争反対ストライキ
- 1917年1月～ 断続的にストライキとデモ、ペトログラート守備隊兵士動揺
- 2月23日 ペトログラート騒乱状態激化
- 27日朝 国会、停止勅令受領、臨時委員会創設
- 15時 ペトログラート労働者・兵士代表ソヴィエト成立
- 深夜 国会、政府省庁の接收を実施
ツァーリ、モギリョーフ（ペラルーシ）の大本営で首都の反乱の報（首相グリツィンの電報）に接し、軍に首都進撃を命じるも、兵士が動揺し、軍は命令遂行不能
- 28日夜 国会臨時委員会、新政権成立のアピール
- 3月1日 臨時政府成立
- 2日 ツァーリ・ニコライ2世、弟ミハイールへの譲位を決意
- 3日 ミハイールは即位を辞退→帝政崩壊

2. 臨時政府

2.1. 1917年3月3日 政治犯釈放、国民の基本的人権と自由の保障、市民と兵士の平等、警察（полиция）に代わる民警（милиция）の設置、憲法制定会議の準備開始、憲兵、検閲の廃止を宣言

2.2. 臨時政府首相には「全ロシア地方自治同盟」議長リヴォーフ公が就任
国会内の立憲派・改革派が臨時政府の中心メンバー

3. 1917年2月以降の各政党の動き

3.1. 1917年2月以降の各政党の課題

3.1.1. 臨時政府への参加

10月17日同盟、立憲民主党、社会主義者＝革命家党（エスエル）、ロシア社会民主労働党

夏頃から、エスエルとロシア社会民主労働党が主流

極左政党（ロシア社会民主労働党ボリシェヴィキ派など）は、臨時政府に不参加（兵士委員会、工場委員会において活動）＝夏頃から、ソヴィエトでも影響力が増大

3.1.2. 憲法制定会議選挙の準備

3.1.3. 農業政策＝土地政策

4. ソヴィエトの動き

4.1. ソヴィエト内部の対立

ペトログラート・ソヴィエト執行委員会（社会主義者＝革命家党＋ロシア社会民主労働党）

臨時政府メンバーに加わる

ソヴィエト内の対立

対臨時政府協調派（社会主義者＝革命家党＋ロシア社会民主労働党）

反臨時政府派（ロシア社会民主労働党ボリシェヴィキ派）

4.2. ソヴィエトの組織と構造

4.2.1. 基礎組織

市ソヴィエト、郷ソヴィエト

市ソヴィエトのみ直接選挙、郷ソヴィエト・上級ソヴィエトは間接多段階選挙

4.2.2. 上級ソヴィエト

全ロシア・ソヴィエト大会、県ソヴィエト大会、州ソヴィエト大会、地区ソヴィエト大会

4.2.3. 指導機関

全露中央執行委員会（Всероссийский Центральный Исполнительный Комитет）、中央執行委員会（ЦИК）、執行委員会（исполком）

4.2.4. 武装組織

労働者民警（ВЦИК は労働者民警と民警の一体化を要求）

赤衛隊（Красная гвардия）（反革命との闘争）

4.3. ソヴィエトの経済管理

4.3.1. 労働者監督（рабочий контроль）

ブルジョアジー、ブルジョアスペツイ（буржуа-спецы）に対する監督

4.3.2. 労働者管理（рабочее управление）

労働者自身による企業の経営管理（自主管理）

4.3.3. 労働調整 8 時間労働制などの制度的改善

4.4. 第 1 回全ロシア労働者・兵士ソヴィエト大会（1917 年 6 月 3 日）

4.4.1. 会派構成

社会主義者＝革命家党：285 ロシア社会民主労働党：248 ロシア社会民主労働党ボリシェヴィキ派：105

4.4.2. 臨時政府支持、憲法制定会議召集を決議

5. ケレンスキー首班第 2 次臨時政府の成立

1917 年 7 月 24 日 リヴォーフ首相辞任（戦争指導のつまずき）

司法相ケレンスキー（ペトログラート・ソヴィエト副議長、弁護士）が首相に就任